

九州ブリッジファンド

佐賀銀行が

1億円出資

佐賀銀行(佐賀市)は二十八日、優れた技術やノウハウを持ちながら後継者問題を抱えた九州の

中小企業の事業継続を支援する「九州事業継続フ

リッジ投資事業有限責任

組合(九州ブリッジファ

ンド)に一億円を出資する、と発表した。同ファンドは昨年五月、福岡市のファンド運

営会社「ドーガン・インベストメント」(森大介代表)が設立。ファンド総額四十八億円のうち約半分を独立行政法人・中

小企業基盤整備機構が出資し、残りを同社と西日本シティ銀行(福岡市)、肥後銀行(熊本市)、十

八銀行(長崎市)、鹿児島銀行(鹿児島市)、筑邦銀行(福岡県久留米市)の地方五銀行が共同出資している。投資対象は、

後継者不在などの問題を抱える九州・山口の中小企業で、企業の合併・買収(M&A)などで事業

継続を支援する。佐賀銀行の出資は八月二日の予定。同銀の松尾靖彦頭取は「ファンドの活用を通して地場企業の事業再生を積極的に進め、金融分野での地域貢献を目指したい」と話している。